

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		商品プロモーション支援					所管	文化産業観光部 産業振興課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	151	計画事業名	商品プロモーション支援			事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] 活力にあふれ多彩な魅力が輝くまちの実現 [施策] 34 企業の競争力強化と海外展開支援					[事業開始] 平成 24 年度 [終了予定] - 年度				
	根拠法令等	要綱	〔法令等名〕		商品プロモーション支援事業助成金交付要綱(事業団)						
	事業対象	直接の対象 : 主に製造業の区内中小企業 最終的な対象 : 区内中小企業									
	事業目的	製造事業者の販路拡大とデザイナーの区内定着									
	事業内容 [H30年度]	区内に事業所を構えるデザイナーに、デザインを依頼して、製品パッケージ、印刷物(チラシ、カタログ)、販促物(パンナー、ポスター)の制作を行う製造事業者に対し、デザイン委託費用の一部を助成する。 助成率: デザイナーに支払うデザイン委託費用(印刷費用は除く)の2分の1以内で、15万円を限度									
	委託の有無	なし	委託内容		なし						
補助金の有無	なし										
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度				
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率		
	活動指標	相談件数	件	15	15	13	14	15	93.3%		
	成果指標	製造事業者とデザイナーマッチング件数	件	10	11	9	11	10	110.0%		
	決算額 (単位: 千円)				H28年度		H29年度		H30年度		
	事務事業コスト (単位: 千円)	人にかかるコスト(人件費など)			803		838		882		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0		2		0		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			1,306		1,183		1,445		
		総経費			2,109		2,023		2,327		
	財源項目 (単位: 千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0		0		0		
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			653		591		0				
一般財源(区負担額)			1,456		1,432		2,327				
課題及び今後の進め方	製造事業者がデザイナーと行う連携の態様は、製品デザイン、パッケージデザイン、カタログ等様々であり、デザイナーも、プロダクトデザイン、テキスタイルデザイン、WEBデザインなど細分化している。今後も、多くのデザイナーの集積と情報の把握を進め、効果的な連携が図れるように努めていく。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	外部のデザイナーを活用して製品にデザインによる付加価値をつけ、販売促進を図ろうとする区内製造事業者は増えつつある。一方で、台東デザイナーズビレッジの卒業生をはじめデザイナーの区内開業も進んでおり、事業者間の連携を支援する必要がある。								
	効率性	3	相談・助成件数がコンスタントに推移していることから、区内事業者の取組みを喚起するのに必要かつ適切なコストで、本事業を実施することができる。								
	手段の適切性	3	デザイン委託費用の一部を助成することで、区内製造事業者が区内デザイナーと連携を図るきっかけとなっている。また、相談段階でデザイナーを検索する手段を紹介するなど、製造事業者とデザイナーの連携に必要な情報提供や助言を行うことで、事業効果を高めている。								
目的達成度	4	製造事業者とデザイナーのマッチング件数は、目標に達しており、製造事業者の販路拡大とデザイナーの受注確保という成果に繋がっている。									
〔総合評価〕 ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性					
本事業は、製造事業者と、本区に集積が進みつつあるデザイナーが連携し、新たな商品の創出や、商品の魅力向上を図るきっかけとなっている。このことは、製造事業者の販路拡大のみならず、デザイナーの区内定着や、ものづくりのまち台東区の魅力向上、活性化にも繋がることから、維持とする。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			